



# 12年前日記

---

2000年1月8日（土）

---

山田夫妻

---

## 『12年前日記 2000年1月8日(土)』

【2000年1月8日(土)】\*2012年1月8日(日)記

朝9時30分、起床。もしかしたら昨日、ミスタータンドラーに居留守を使われたのは、俺の居場所を逆探知とかで知られて、コイツは危ないと判断されたに違いない。つつい国際派自称プロ戦場特派員ゴッコにも飽きて、うっかり思わず同じホテルに9連泊もしてしまい、あろうことか、あやうく今日も10連泊するところだったぜ。完全にヤサがバレてるのは确实だな。

11時、まあ、気分転換を兼ねて、土日満喫するため、荷物をまとめてチェックアウト。

メータータクシーに乗る(65B)、カオサン通りなんかで拾うもんじゃないな。

「『Bangkok Center Hotel』へ」と言うと、「そこは予約してあるのか？ 本当か？」、「空港には明日行くのか？ そうならこのタクシーを使え」、「そのホテルからはエアポートバスは出ないぞ」とやかましいので激無視。

馴染みのホテルに到着し、フロントで部屋を頼むも休日だからかラブホみたいに満室と言われる。一応、高い部屋、シングルルームで1489Bと足元見た部屋はあったが誰が泊まるか！

タクシー代を無駄にし、いらぬ労力を使い、更にクソ暑い中、重い荷物を担ぎと手に持ち、歩きで目の前に見えるが結構距離のあるフォアランポン駅に向かう。

馴染みのあまりポッタくらないほうの正規の観光案内所でホテルを紹介して貰い、そのホテルの名前と住所を書いた紙を用意し、タクシー乗り場へ。

すると若いタイ人なのにデブの案内女がドスドス近づいてきて、ゴチャゴチャと「メータータクシーは高いだ」、「今日はトラフィックジャムがひどい」、「バンコク中の抜け道を知る唯一の男がいる」と言った挙句、連れてきたのが白タクのドライバーのクソじじい、マジ老いぼれ野郎でプルプルしてる。

そして、ドスコイ女が「彼ならなんと200Bでいい」と言うので、「メータータクシーの方が安いし、やせろ」と睨んでるとようやく退散。

しかしじいさんはプルプル残って、紙にプルプル震える手で「150B」、「120B」、「100B」と一人逆オークション。「80B」に暴落したので、面倒臭いので「買った！」とプルプルじじい落札。まだメータータクシーの方が安いけど敬老精神の発揮だ。

しばらく待っていると、じじいそっくりの三途の川専用のオンボロ車が出てくる。ハンドルらしきを握るとじいさんは神に変わった、極悪の死神に。ドライブテクニックは完全に死の領域で、ねこをひいたよ。

12時、なんとか無事に生きてまま『Kritthai Mansion Hotel』にチェックイン(800B)。まだまとわりつこうとするじじいと今生の別れ。ひさしぶりのクーラー、ホットシャワー、電話、テレビ。いつもお仕事頑張っている自分へのささやかな贅沢。フン、俺が稼いだ金をどう使おうが俺の勝手だろ。それに世紀替えしてから、一度もホテル替えしてなかったし〜。

13時、旅のプロはヤサは変えても、昼飯は変えない、昼マック(100B)も早6日目。い

きつけないセブンイレブンをホテル近くになんなく探し出す（15.5B）。脅威の行動力。こういう才能嗅覚はあるから、この手のアレを生かせる仕事に転職するか。

15時30分、ホテル戻り。やはり高い部屋は快適。せめて昼寝して元を取ろう。

18時、起きて、タイの夕飯（28B）を食べに行く。物足りないので夜食名目のハシゴでもう1軒だけもう1軒だけ、8番ラーメン（93B）も食べに行く。

19時30分、ホテル着。なるべく長くホテルに滞在した方が元が取れる作戦実行中。

1時、寝ずに部屋を堪能したかったが、寝てしまう。

○本日の出費、「計算するのが面倒臭いから、各々で適当にしといてよ」B。ついでに一日の流れも「いちいちうっとうしいから誰か簡単にまとめといて」ジャ〜。

『12年前日記 2000年1月8日(土)』

<http://p.booklog.jp/book/42047>

著者：山田夫妻

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yamadafusai/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/42047>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/42047>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.